

## ～四年ぶり! 本山参拝他・親睦旅行実施～



(西本願寺御影堂にて6.5.30)

訂正:前号(141号)1頁写真の説明文は誤りですので訂正します。(正しくは説明文なし)



発行所  
岡谷市郷田一丁目6番3号  
TEL(0266)22-2524  
金松山 敬念寺  
発行  
敬念寺門信徒会  
編集  
会報組織委員会  
朝7時はみ仏さまや  
彼(か)の人との  
出会い(であ)いの時間

簡単な漢字が出てこないということが増えてまいりました。歳をとったことも影響していることに加え、文字を書く機会が減つてきていることに気付かれます。▼相手に思いを伝える手段の一つとして昔から手紙を書く方法があります。最近では電話だけではなく、メールやラインといった通信手段を使うことがあります。▼お寺の仕事でも使う頻度は上がりました。手軽であり効率も良く経済的にも安価である面を考えると当然なのかもしれません。便利な手段ではありますが、弊害もあるように思います。▼漢字を忘れるくらいならまだ個人の問題として許されるでしょうが、手紙を書く時に比べ、手軽さや便利という中に「相手に配慮する」(受け取る側の気持ち)や自分の心情を細かく伝えるという作業に欠けています。▼昔の方(手紙)が良かつたと言うのではなく、より「思い」が伝わっていたように感じます。また、この便利な技術が他者をおとしめたり、誹謗する手段として使われることのないよう心掛けることが大事だと思います。▼このことは一つの例えであり、世の中は常に変化をしており、文化・技術・生活習慣も移り変わっていきます。変化に対応し、その流れについて行くことを求められます、その変化の中にも「いのちの尊厳」を常に感じていたいものです。▼社会の流れについて行くのは大変ですが、お念仏と共に阿弥陀如来に願われてある「いのち」であることを、ここに据えながら歩んでまいりたいと思います。

先祖のおかげで わたしの「いのち」がある  
社会のおかげで わたしの「暮し」がある  
お念仏のおかげで わたしの「喜び」がある

釋 宏真

### 小僧の目

歩んでまいりたいと思います。

### ご定例法話内会

- 8月 1日(木)~5日(月) 第42回連続参拝 前 7:00
- 8月 4日(日) 新盆合同法要 前10:00
- 8月16日(金) 孟蘭盆法要 前10:00
- \* 9月22日(日) 秋彼岸法要 前10:00
- \* 11月10日(日) 報恩講法要 前10:00
- 7月20日(土) 講師 遠山信敬さん(福井県)
- 8月20日(火) 講師 未定(長野教区)
- 9月20日(金) 講師 未定
- 10月20日(日) 講師 中原昭俊さん(兵庫県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

\* 法語カレンダーの日付は誤りです!

### ご寺院案内

- 8月 1日(木)~5日(月) 第42回連続参拝 前 7:00
- 8月 4日(日) 新盆合同法要 前10:00
- 8月16日(金) 孟蘭盆法要 前10:00
- \* 9月22日(日) 秋彼岸法要 前10:00
- \* 11月10日(日) 報恩講法要 前10:00

# 令和六年度年次総会の報告

令和六年度敬念寺門信徒会年次総会を四月二十七日(土)に開催いたしました。

当日は代議員であるお世話人二名(委任状三十六名)出席のもと議長に角川義文さんを選出、議案審議が行われました。

総会に先立ち、「讚仏偈」で勤行を行いました。

また、お世話人の仕事内容等について「心得三ヶ条」として鷹野原教化副委員長が説明しました。

## 議事

- 一、令和五年度事業報告
- 二、令和五年度会計報告・監査報告

### 一、令和六年度事業計画(案)

★千原会長による事業報告では、

前御住職が十月十日に往生の素懐を遂げられ、敬念寺及び門信徒会による合同葬として、十二月八日に行われた本葬に門信徒会として全面協力すると共に、葬儀には門信徒を代表して大勢の地区世話人の方々に参列していただいた。一方、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されたものの、その影響が残り、寺院法要・門信徒会行事における参拝人員の減少が続いている。また、下期での寺院葬儀対応等



門信徒会年次総会のようす(6.4.27)

により新規事業への取り組みに遅れが生じており、次年度での課題である。等が報告されました。

★記載の各号議事を審議の結果、すべて承認され総会の幕が閉じられました。

★最後に、ご住職から挨拶がありました。お世話人不在の地区が増えており、その解消策が大きな課題であるが、門信徒会役員やお世話人、門信徒の皆様と一緒に、教化伝道をしつかりと進めてまいりたい。と述べられました。

(次頁下段に関連記事あり)

## 敬念寺「初級講座」(住職主管) 計画中!

### ～もっと知ろう！ 浄土真宗について・お寺について～

今年度の活動計画として住職主管で「初級講座」を企画中です。今まで行われている、松本組の連研（門徒推進員養成連続研修会）とは別に、敬念寺独自に「初級講座・入門講座」として企画しているものです。敷居を低くして、身近に「お寺や浄土真宗」などについて理解を深められる内容になります。具体的な日程（予定：8月下旬～）等決まりましたらチラシでお知らせするとともに、住職から個別に声掛けされます。多くの皆様がご参加されますようお願いいたします。

### 親睦旅行に参加して

滝川 育子

前日まで天候不順で、雨が心配でしたが、六月二十九日から二日間の旅はすっかり晴天に恵まれました。朝の空は大分明るく、十八名の参加者の表情も笑顔に包まれていました。いよいよ出発。幹事さんの用意したおにぎり、味噌汁を頂き、旅のこれから未知の行程に夢ふくらませ、夫々の心は期待に満ちているようでした。

空も明るくなり、初めについた所は「宇治平等院」。修学旅行の生徒達に混じりながら鳳凰館を見学し、宇治の木撰茶屋にて宇治川を眺めながら美味しい昼食を頂き、万福寺に向かいました。中国式の異国情緒溢れる禅寺です。

開創した「隱元」様は、インゲン豆を始め食事習慣を日本にもたらした方です。

次に伏見の「日野誕生院・法界寺」に。藤原氏の流れを汲む日野家の別邸で、親鸞聖人御誕生の地です。ご聖人を大切にして語られている解説の様子が、印象に残りました。

翌朝六時、広い阿弥陀堂でのお参りは、堂内に声が響きわたり、莊厳な雰囲気でした。

前日まで天候不順で、雨が心配でしたが、六月二十九日から二日間の旅はすっかり晴天に恵まれました。朝の空は大分明るく、十八名の参加者の表情も笑顔に包まれていました。いよいよ出発。幹事さんの用意したおにぎり、味噌汁を頂き、旅のこれから未知の行程に夢ふくらませ、夫々の心は期待に満ちているようでした。

空も明るくなり、初めについた所は「宇治平等院」。修学旅行の生徒達に混じりながら鳳凰館を見学し、宇治の木撰茶屋にて宇治川を眺めながら美味しい昼食を頂き、万福寺に向かいました。中国式の異国情緒溢れる禅寺です。

開創した「隱元」様は、インゲン豆を始め食事習慣を日本にもたらした方です。

次に伏見の「日野誕生院・法界寺」に。藤原氏の流れを汲む日野家の別邸で、親鸞聖人御誕生の地です。ご聖人を大切にして語られている解説の様子が、印象に残りました。

翌朝六時、広い阿弥陀堂でのお参りは、堂内に声が響きわたり、莊厳な雰囲気でした。

その後、「キユツ、キユツ」と廊下を鳴らし、御影堂に向かいました。また今回は参拝後、八名の方々が

「帰敬式」（おかみそり）を受けられました。受式後、皆さんは清々しく

爽やかな表情をされていました。

参拝後は、ご住職に案内して

いた「黒書院」「北能舞台」「南能

舞台」「書院」「唐門」「飛雲閣」等

を見学させていただきました。

二日目は十時半に出発。今年の大

河ドラマ「光る君へ」の主人公紫式

部ゆかりの石山寺へ。名前のとおり

大きな石や岩の間に、各御堂が数多

くあり、その間を縫うように参道が

ありました。坂道や石段を登り巡り

ました。中程の本堂のみで引き返す

人もいましたが、殆どの方は歩いて

いました。

今までこそ賑わっていますが、紫式

部が源氏物語を書かれた頃の石山寺

は静かで、山深い所であつたことだ

ろうと想像できました。

石山寺洗心寮にて、「比叡ゆば」の

昼食をいただき、帰路につきました。

帰路の車中では、元婦人部長の望

月さんによる替え歌「お座敷小唄」

「高校三年生」の披露があり、替え

歌の歌詞では、浄土真宗のみ教えを

さらりと説かれていて、ハツ！としたのは私だけではないと思いました。

他に、四十七都道府県の県章を覚えており、おなじみのビンゴゲームで

賞品を頂ける喜びを味あわせていました。

夕方六時西本願寺に到着。聞法会

館で待望の夕食を頂き、歓談しながらの楽しいひと時を過ごしました。

翌朝六時、広い阿弥陀堂でのお参りは、堂内に声が響きわたり、莊厳な雰囲気でした。

### 一財務委員会

### 門信徒会年次総会関連補足説明

#### ☆五年度決算関係

・会費収入の減少が続いている。

護寺協力金については、お世話人と

ご門徒の皆様のご理解で納入額の減

少は微減にとどまっています。

・支出について、通信事務費の増

ました。受式後、皆さんは清々しく

爽やかな表情をされていました。

参拝後は、ご住職に案内して

いた「黒書院」「北能舞台」「南能

舞台」「書院」「唐門」「飛雲閣」等

を見学させていただきました。

二日目は十時半に出発。今年の大

河ドラマ「光る君へ」の主人公紫式

部ゆかりの石山寺へ。名前のとおり

大きな石や岩の間に、各御堂が数多

くあり、その間を縫うように参道が

ありました。坂道や石段を登り巡り

ました。中程の本堂のみで引き返す

人もいましたが、殆どの方は歩いて

いました。

今までこそ賑わっていますが、紫式

部が源氏物語を書かれた頃の石山寺

は静かで、山深い所であつたことだ

ろうと想像できました。

石山寺洗心寮にて、「比叡ゆば」の

昼食をいただき、帰路につきました。

帰路の車中では、元婦人部長の望

月さんによる替え歌「お座敷小唄」

「高校三年生」の披露があり、替え

歌の歌詞では、浄土真宗のみ教えを

さらりと説かれていて、ハツ！としたのは私だけではないと思いました。

他に、四十七都道府県の県章を覚えており、おなじみのビンゴゲームで

賞品を頂ける喜びを味あわせていました。

### 一常任委員会

#### ☆六年度事業計画関係

・寺院の将来あるべき姿（中長期ビ

ジョン）の検討と事業推進

中長期課題に対する住職と連携

した対応策の構想検討と新たな活動

の推進等

# トピックス

## 「親睦旅行」行われる!

昨年「親鸞聖人御誕生八百五十  
年・立教開宗八百年の慶讃法要」  
が厳修された本山参拝をメインに  
大河ドラマ「光る君へ」・紫式部ゆ  
かりの石山寺参拝等の行程で企画  
されました。また、本山参拝の機会  
に「帰敬式」(おかみそり)を受け  
られた方々もおられました。

—「帰敬式と法名」—  
法名は、仏法に帰依した人の名前  
で、主に本山で行われる帰敬式  
(おかみそり)を受けた人に對し  
てご門主から授与されるもので  
す。つまり「仏教徒としての自覚  
を持って生きる」証の名前であり、  
生きている間に授かるべき性質の  
ものです。  
【仏事のイロハ 134頁から引用】



日野誕生院：親鸞聖人董形像前にて (6.5.29)



西本願寺「飛雲閣」にて (6.5.30)

今年も報恩講（十一月十日）に  
向けて、境内を彩る小菊・ドーム菊  
の苗の配布を計画しています。  
多くの皆様のご協力で境内が一  
杯になるのが楽しみです。  
菊づくりのお仲間「敬香会」の  
皆さんのが植え方、育て方をアドバ  
イスしますので、ぜひご参加ください！

**小菊・ドーム菊  
づくりのお誘い！**



八月末日までに！

七月七日（日）日曜参拝終了後  
七時四十五分から八時半

本堂下駐車場にて

（当日都合つかない方は、後日  
残りの苗をお持ちください。）

**門信徒会費と  
護寺協力金のお願い**

今年も寺の維持管理の資金、  
更なる教化活動の振興のため、  
会費と護寺協力金のお願いに担  
当のお世話人が近日中にお伺い  
しますが、ご協力の程お願いし  
ます。

○ご依頼額は  
年間三千円以上

※以上分が「護寺協力金」となり  
ます。

**今年も！**

## —「護寺協力金」について御礼とお願ひ—

財務基盤強化の一環として平成28年度に「護寺協力金」が新設されています。(今年で9年目となります。) お世話人を通じ(市外の方は郵送書面でのお願ひにより)、年度会費3千円徴収依頼の際にご協力ををお願いしておりますが、お陰様で皆様のご理解・ご協力により広く定着し、財務健全化につながっております。【昨年度も72万円余のご協力を頂きました。】

(従来からご依頼額は3千円以上となっており、「会費3千円」の以上分の淨財を「護寺協力金」に充てています。)

この淨財は、全額「護寺基本金」に積み立てて、大規模營繕・大規模法要等の費用に備えています。

**今年も、担当のお世話人がお伺いした折及び郵送便到着後に、引き続きのご理解とご協力を  
お願い申し上げます。**

敬念寺門信徒会 会長 千原 博幸 財務委員長 西山 周治